

紫波町かいわい IT 事情

紫波町 IT サポートコーナーを運営するゴーフォワードジャパンが発信します

紫波町IT無料相談 – パソコンやスマホを使っていて困ったことがあったら、ITサポートコーナーでいっしょに考えて良い方法を見つけましょう。



金曜・土曜の10時～16時にオープンしています
(情報交流館の休館日を除く)

仙台マイクロメーカーフェア特集 出展者ID SM008(マダラボ)

Sendai Micro Maker Faire®

- 日時：2022年 6月25日(土) 13:00-17:00
- 会場：協同組合仙台卸商センター
産業見本市会館 サンフェスタ 301、302
宮城県仙台市若林区卸町2丁目15-2

3Dプリンターは造形方法や使用する素材などで多くの種類があります。家庭での趣味などによく使われる熱溶解積層方式は樹脂を溶かしてノズルから押し出して一層ごとに形を作って、それを積み上げて作品を作ります。3Dプリンター価格はピンからキリまでありますが、簡易組み立てキットなどの場合は2万円台から購入することができます。ファブラボ紫波で展示してあるものは3万円前後のものです。

モデリングソフトを使えばオリジナルの作品を作ることができます。モデリングソフトは数種類ありますが、Fusion360は使いやすく非商用であれば無料で使えるのでお勧めできます。一番に考えなくてはいけないのが、「3Dプリンターで何を作りたいか」です。

- ✓ 造形時間がかかりすぎ？
- ✓ 作品の強度は十分？
- ✓ 100円ショップでは購入できない？

さて、どうでしょうか？

ファブラボ紫波では、3Dプリンターに興味のある方に無料で簡単なモデリングの体験をしていただくことができますので、メールでお問い合わせください。



視覚障害のあるK氏はボードゲームが好きで、ファブラボ紫波に来て友人と遊べるボードを作っています。

将棋や囲碁は視覚障害者向けに、触って分かる工夫がされている駒や石、将棋盤、囲碁盤が販売されているそうです。一般向けの新しいボードゲームやパズルなどは着色や印刷などで敵味方のコマや盤の図柄が描かれているのでそのままでは遊ぶことができません。手で触ったときにズレないことや、触ったコマの形で区別ができることが重要です。そこに注意すれば3Dプリンターやレーザーカッターで視覚に頼らないボードを作ることができます。

ファブラボ紫波ではどのようなパーツが必要なのかを相談しながらモデルや加工図面の製作と加工をお手伝いしています。

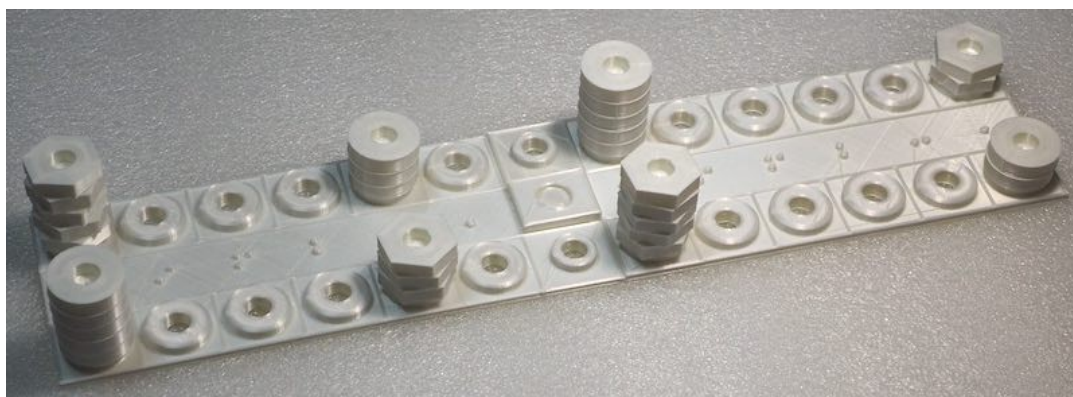
セカンドベストというダイソーで100円で販売されているボードゲームです。左側がオリジナルで、右側が視覚に障害があっても遊べるように工夫したボードです。



バックギャモンという欧米で人気のあるボードゲームは、視覚障害者向けに (株)タカラトミーから発売されていたとのこと。もう市販されていないので詳しい構造がわかりませんが、立ててある棒にコマを差し込んで触ってもズレないように工夫してあったそうです。

3Dプリンターで作った長い棒はすぐに折れてしまいそうですので、コマを重ねられるバックギャモンを作ってみました。実際にK氏に試してもらって改良したいと思います。

興味のある方は問い合わせください。



ITサポートコーナーとファブラボ紫波は紫波町情報交流館2階で、金曜日と土曜日の10時から16時までオープンしています。(情報交流館の休館日はお休みです。)

問い合わせは info@go-forward-japan.org まで。

メール用
QRコード

